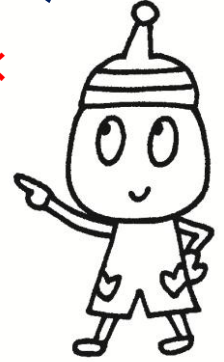


みんなでつくる これからの 防災教育

東日本大震災
あの日から3年・・・
私たちは何を学んだのか
どのように
伝えていくべきか

3・11 逗子
忘れない、つなげていく



2011年3月の東日本大震災発生以降、逗子市では毎年1回、「災害対策」をテーマに「まちづくりトーク」を開催し、そこで話し合われた結果を市の施策に反映させてきました。

この間、さまざまな市民活動団体が被災地支援の活動に取り組み、また、そこで得た知識と経験を逗子に持ち帰って伝える活動も盛んに行われています。市でも、高校生を被災地に派遣したり、市民活動団体と協働で「ずし減災大学」を実施したりしています。

今回のまちづくりトークでは、この3年間で私たちが学んだことを次の世代に伝えていくための「防災教育・意識啓発」のあり方について、皆でアイデアを出し合い、考えたいと思います。とくに、中学生・高校生をはじめとする若い世代の皆さんのご意見、アイデアをお待ちしています。ぜひ、ご参加ください。

3月15日(土)

午前9時30分～11時30分

逗子文化プラザ・市民交流センター 会議室 にて



- ・定員60名(当日先着順)
- ・事前申込み不要。直接、会場へお越しください。
- ・聴覚障がい者のための要約筆記があります。
- ・手話通訳、託児(先着5名)を希望する場合は、3月7日(金)までにお申し込みください。

主催 逗子市 (問合せ 市民協働部 市民協働課)

電話: 046-873-1111 FAX: 046-872-3003 E-mail: siminkyoudou@city.zushi.kanagawa.jp